

令和6年4月1日

一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（宿毛和田～宿毛新港）、
一般国道55号 奈半利安芸道路（奈半利～安田）
の新規事業化に係る知事コメントについて

このことにつきまして、下記のとおり知事コメントを公表いたします。

記

本日、国土交通省から、令和6年度予算が発表され、四国8の字ネットワークの一部を構成する「一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（宿毛和田～宿毛新港）」と「一般国道55号 奈半利安芸道路（奈半利～安田）」が新規事業として盛り込まれ、本県の四国8の字ネットワークは全線着手となりました。

これまで事業化に向けてご尽力いただきました、国土交通省はもとより、沿線自治体や関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

本県では、役場庁舎の移転や道の駅の拡張など、防災拠点の機能強化や販路拡大による地産外商の強化、新たな観光拠点の整備による観光誘客などの取り組みを地域一丸となって推し進めています。

また、今回の能登半島地震で、土砂崩れ等による道路の寸断が、救助活動や物資輸送に影響を及ぼしたことは、南海トラフ地震においても共通する課題です。

このことから、緊急輸送の根幹を成す四国8の字ネットワークの整備は急務であり、このたびの全線着手はまさに追い風と、大変うれしく感じています。

今後、四国8の字ネットワークの整備が進めば、防災拠点の機能強化や地産外商の強化などの県の取り組みともあいまって、大規模災害時の防災力向上に加え、四国内や関西圏とのアクセス性向上による商圈や交流人口の更なる拡大により、本県のみならず、四国全体の経済活性化にも寄与するものと期待しています。

県としましては、引き続き、事業が円滑に進められるよう、沿線自治体や関係機関と連携して取り組むとともに、インターアクセス道路の整備を推進することで、整備効果の早期発現に努めてまいります。